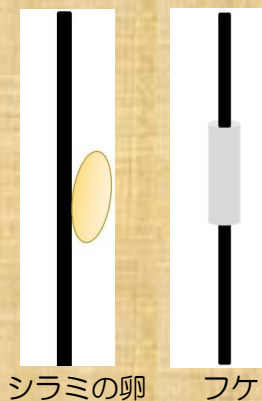
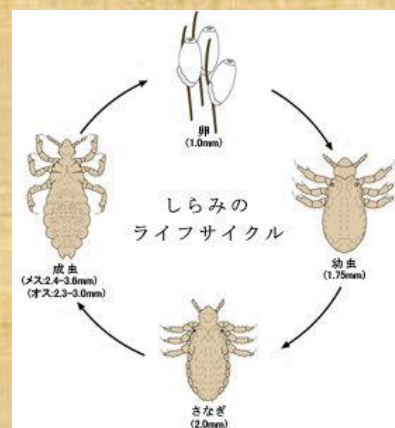


2019年 6月 子育てワンポイント

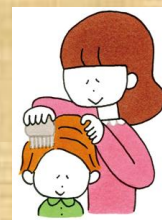
テーマ「 しらみに気をつけよう 」

人に寄生するシラミは、アタマジラミ、ケジラミ、コロモジラミの3種類があります。90年代に入って再び、小学校・幼稚園・保育園の間で増加し始めました。シラミが増加した訳として、強い殺虫剤が販売禁止になったことや海外交流が盛んになったこと、そして、シラミを知らない世代が親となり、子どもの頭に感染しているシラミに気づかないため、感染が拡大していると推測されます。

シラミは主に髪の毛の接触によって感染するため、子どもたちが体や頭を寄せて遊ぶ場所、小学校や幼稚園、保育園も感染しやすい場所という訳です。また、気をつけなければならないのは、子どもと接触する機会の多い母親に感染した場合です。子どもがせっかく治ったのに、母親から子どもの再感染する、ピンポン感染することがあります。毎日洗髪していても移されないとは限りません。



シラミは幼虫から成虫まで吸血します。髪の毛に産み付けられた卵は 7~10 日で孵化し、1~2 週間で成虫となります。1 日におよそ3~4個、1 か月で約100個も産卵するため繁殖力が非常に強く数が増えていくので早期発見が重要です。



卵は側頭部や後頭部、耳の後ろをよく観察すれば見つけられます。灰白色の楕円形で、髪の毛につく汚れとよく似ていますが、しっかりと紙に固着しているので指でつまんでもとれません。もしも感染しても集団生活においては出席停止は必要ないと考えられる感染症ですので、専用のスミスリンシャンプーやパウダーを使用し、正しい使い方ですら駆除してください。

対処法として…

シラミは洗たく前に60度以上のお湯に5分つければ付着しているような衣類、シーツ、枕カバー等は幼虫、成虫、卵は死滅します。衣類乾燥機の使用も効果があります。シラミに感染したら、専用のシャンプーで洗髪したり、卵はセメントのような物質で髪の毛に付着しているので、目の細かい“くし”でよくすいたりして取り除いて下さい。目でもよく確認しながら増殖を防ぎたいものです。